

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器や板書、ワークシート、参考作品等を活用し、様々な作品やアーティスト、表現方法に触れる機会を設定し、より広い美術的知識を定着させる。 定期的に生徒同士の作品鑑賞の時間を設け、互いの良さや工夫に気付く授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎課題から発展課題のように関連した教材の設定。 題材ごとに発想構想から制作、発表鑑賞の工程を踏まえて計画的に授業を行う。 ICT 機器や参考作品を活用し、生徒の思考を広げる活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を積極的に活用し、美術作品をより身近に感じるものとして体感的に楽しむことができる授業を行う。 定期的に生徒同士の作品鑑賞の時間を設け、主体的、協働的に学ぶ環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の学習状況・能力に応じた目標の設定及び評価の工夫を行っていく。 ワークシートや授業振り返りシートを活用し、生徒の学習状況の評価を適切に行う。

◎単元(1~数十時間の学習内容のまとめ)は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ~ 7	「ブッシュ窓飾用 スタンドグラス」 平面 色彩 デザイン	大型モニター 実物投影機	15	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色彩などの性質及び、それらが感情にもたらす効果や構成の美しさなどをもとに、分かりやすさと美しさを全体のイメージでとらえることを理解している。 ○視覚的な効果を考え、色を選択し、創意工夫することができる。 ○色の選択を工夫することができる。 ○形や色、の表わし方を身に付け、表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッター使い方、色の選択を工夫し、丁寧に効果的な表現をすることができる。 ○色彩効果の工夫をし、平面構成をしている。 ○形や色彩の特徴や美しさを基に、創造的な構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に構図や表現法などを意図に応じて創意工夫したり、創造的に表現したりする活動に取り組もうとしている。
8 ~ 11	「ハイ・コントラスト表現によるイラストレーション」 平面 デザイン	大型モニター 実物投影機	10	<ul style="list-style-type: none"> ○モチーフ(選んだ人物)の形をよく観察し、特徴を的確に捉えることができる。 ○表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主題を基にイメージを膨らませ、黒と白という限られた色づかいの中で形の効果を生かして、創造的に工夫し、表現する構想を練ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に構図や表現法などを意図に応じて創意工夫し、創造的に表現したりする表現の活動に取り組もうとしている。

夏休	「合唱コンクール 自由曲イメージ画」 平面 色彩 デザイン			<p>○視覚的な効果を考え、丁寧に、創意工夫して表現している。</p> <p>○伝えるという目的、形や色彩などの美しさやよさを考え、創意工夫することができる。</p>	<p>○テーマ（自由曲）に沿った発想から伝えたい内容について 分かりやすさや美しさを考え、効果的な構想を練ることができる。</p> <p>○色彩効果の工夫をし、平面構成をしている。</p> <p>○ポスターデザインについて関心を持ち、主体的に主題を生み出し、材料や用具の生かし方を工夫している。</p>
12 ~ 3	「暮らしの中の木の工芸品」~丸盆~ 立体表現 彫刻	大型モニター 実物投影機	10	<p>○木の質感や特性、形や色が感情をもたらす効果やぬくもりなどを全体のイメージで捉えることができる。</p> <p>○木の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序など考えながら見通しを持って表すことができる。</p> <p>○鎌倉彫の歴史、制作方法を理解し、制作に活かすことができる。</p>	<p>○木の特性や美しさを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使い易さと美しさなどとの調和を考え表現する構想を練ることができる。</p> <p>○素材の特徴や美しさを基に、創造的な構成を工夫することができる。</p> <p>○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に構図や表現法などを意図に応じて創意工夫したり、創造的に表現したりする活動に取り組もうとしている。</p>
評価材および評価方法				<p>・提出作品 授業観察</p> <p>・定期考査</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・提出作品 授業観察</p> <p>・定期考査</p> <p>・ワークシート</p>